

7. 第一次生物多様性いちかわ戦略の評価

| 第一次生物多様性いちかわ戦略 | | | | | 基準年度 2014 (H26) | 短期目標年度 (当初) | 直近実績 | | 短期中期目標 | | | | |
|--|----------------------------------|--------------------------------------|---|-------------------------|---------------------------|--|---|--|--|--|---|---|--|
| 基本理念 | 基本戦略 | 行動計画 | 施策 | 指標 番号 | 指標 | 数値等 | 2020 (令和2) | 評価 | 2024 (令和6) | 評価 | 2025 (令和7) | | |
| 「自然と自然」「文化と文化」「人と人」「自然と文化と人のつながりを形成すること」 | 基本戦略1 生物多様性の保全・再生「自然と自然をつなげる」 | (1) 地域の核となる自然環境を保全していきます | 市内緑地の保全と活用 | 1-1 | 行徳近郊緑地特別保全地区の生物多様性の状況 | 鳥獣保護区(56ha)の鳥類確認種数:91種 | 鳥獣保護区(56ha)の鳥類確認種数:86種 | A | 鳥獣保護区(56ha)の鳥類確認種数:82種 | A | 【旧(～2022年度)】生物多様性の回復 【新(2023年度～)】生物多様性の維持 | | |
| | | | | 1-2 | あいねすとの来館者数【新(2023年度～)】 | — | — | — | 38,114人 | A | 生物多様性についての知識の向上 | | |
| | | | | 2 | 大町公園の生物多様性の状況 | | 大町公園、市民キャンプ場、霊園の適正な管理 | 看板、水路の一部修繕。 委託による樹木の剪定、伐採、草刈。 | B | ナラ科等の樹木を対象としたナラ枯れ対策のための薬剤注入及び伐採。 | B | 生物多様性の回復 | |
| | | | | 3 | 民有樹林地の保全協定の維持 | | 協定山林の面積 | 38.1ha | 36.2ha (対H26年度比)△5% | B | 34.6ha (対H26年度比)△9.2% | B | 民有樹林地の保全 |
| | | | | 4 | 貞龍川水域水循環系再生構想の推進 | | 貞龍川水域水循環系再生構想の推進 | 構想の実施計画である「貞龍川水循環系再生行動計画」に対する、4市の取り組み状況を、貞龍川懇談会で報告し合った | 5人槽6基に対して高度処理型合併浄化槽への転換補助(5,544,000円) 雨水貯留施設(雨樋取付型)7件、雨水貯留施設(浄化槽転用型)2件の設置に対する助成(281,555円) | A | 5人槽2基の高度処理型合併浄化槽への転換補助(1,600,000円) 雨水貯留施設(雨樋取付型)10件の設置に対する助成(159,150円) | B | 水辺環境の生物多様性の回復 |
| | | | | 5 | 三番瀬の再生事業の促進 | | 三番瀬の再生事業の促進 | 県にて「三番瀬干潟の環境形成検討事業業務委託」を実施 | 県にて「三番瀬干潟の環境形成検討事業業務委託」を実施 | B | 干潟再生に先立ち、現在の環境を把握するためモニタリング調査を実施。 | A | 水辺環境の生物多様性の回復 |
| | | | | 6 | 三番瀬再生事業の推進 | | 三番瀬再生事業の推進 | 漁業協同組合が漁場改善のため客土を実施(783㎡) | 漁場改善を目的とした団体へ支援を実施 | A | ・航路浚渫土砂を活用し、漁場に投入(約5,800㎡) ・漁場改善を目的とした団体へ支援を実施 | A | 三番瀬漁場の再生 |
| | | | 7 | 優良農地の保全 | | 農業振興地域の面積 | 386ha | 386ha | A | 386ha | A | 一都市農業の振興 | |
| | | | (2) 身近な自然環境の保全再生を図ります「自然と自然をつなげる」 | 都市公園の整備 | | 都市公園の面積 | — | — | A | きんもくせい公園(新設)ほか5件新設 | A | 市街地の都市公園の拡充と保全 | |
| | | 市街地の緑地の保全 | | | 都市緑地の面積 | 60,58ha | 76.41ha | A | 76.41ha | A | 市街地の都市緑地の拡充と保全 | | |
| | | 河川環境の保全 | | | 生物の生息状況 海～川～谷津のつながり | 10 | 生物の生息状況 海～川～谷津のつながり | 全体延長1,621mのうち1,496m(92.3%)が整備済 | 全体延長1,621mのうち1,588m(98%)が整備済 | A | 整備済 | A | 河川の生物多様性の回復 |
| | | | (3) 地域本来の生物を保護・再生し、外来生物による生態系への影響の軽減を図ります | 地域本来の生物相の保護・再生 | | 在来種の生息地の状況 | 洗井戸水の水質調査を実施。生息状況を確認。 | イノカシラフラスコモの生息に必要な洗井戸水の水質調査を実施。生息状況を確認。 | A | イノカシラフラスコモの生息に必要な洗井戸水の水質調査を実施。生息状況を確認。 | A | 在来種の生息環境の保全 | |
| | | 外来生物対策 | | | アライグマの侵入状況 | 13 | アライグマは市内で繁殖には至っていない | アライグマは市内で繁殖には至っていない | B | 捕獲可能な設置件数40基、アライグマ捕獲回数:31頭 | A | 外来種の侵入を防ぐ | |
| | | | (4) 民有地の緑を増やし保全します | 園芸植物やベットの適正な管理と飼育 | | 【旧(～2022年度)】地域戦略の市民認知度 【新(2023年度～)】外来生物についての啓発活動数 | 「ガーデンニングシティ・いちかわ」の推進により在来種の生息環境保全を図った | ガーデンニングシティいちかわ及び景観まちづくりの取り組みにより、在来種の生息環境の保全を図った | R | ・Webサイトにて「外来種「入れない」「捨てない」「拡げない」」を周知。 ・令和6年2月「外来生物対策マニュアル」を策定し、周知。 | A | 【旧(～2022年度)】在来種の生息環境を保全 【新(2023年度～)】外来生物に関する適正な知識の普及 | |
| | | 住宅地の緑化推進 | | | 住宅地の緑化に関する市民意識 | 15 | 生垣設置助成7件(95.4㎡) 屋上緑化助成0件(0㎡) | 生垣設置助成4件(50㎡) 屋上緑化助成0件(0㎡) 駐車庫助成5件(196㎡) | B | 生垣設置助成0件(0㎡) 屋上緑化助成0件(0㎡) 駐車庫助成0件(0㎡) | B | 住宅地の緑化に関する市民意識の向上 | |
| | | 大型店舗や工場敷地の緑化推進 | | | 工場緑化の状況 | 16 | 緑化基準達成率:工場・事業所87%(27件/31件) 事業系建物の申請において、関連課の協議対象となるものは100%達成(セミナー参加者26名) | ・工場等の緑化届出件数:29件 ・年度末時点での工場等の緑地面積:968,726㎡ | ・工場等の緑化届出件数:35件 ・年度末時点での工場等の緑地面積:908,216㎡ | A | ・工場等の緑化届出件数:35件 ・年度末時点での工場等の緑地面積:908,216㎡ | B | 生物多様性に配慮した緑化 |
| | | | | 都市農地の保全 | | 生産緑地の指定面積 | 98,16ha | 313地区 91,30ha | B | 291地区 82,13ha | B | 生産緑地の維持 | |
| | | 基本戦略2 豊かな文化と景観の保全・創出「文化と文化をつなげる」 | (1) 地域の伝統ある行事を継承していきます | 地域の伝統ある行事の継承 | | 18-1 | 【旧(～2022年度)】案内人の活動 【新(2023年度～)】伝統行事の案内 | ①観光・物産案内所での情報発信②市川案内人の会の活動③市川市観光協会が主催する観光講座への支援(観光交流)④街回遊展でのまち歩きイベントにて観光スポットを案内。 | R | データなし | C | 自然に根差した地域文化の伝承 | |
| | | | | 18-2 | 指定無形民俗文化財への補助【新(2023年度～)】 | — | — | 指定無形民俗文化財2件(国府台辻切り/御奉調) 補助金額:90,000円 | A | 指定無形民俗文化財2件(国府台辻切り/御奉調) 補助金額:90,000円 | A | 自然に根差した地域文化の伝承 | |
| | | | (2) 文化的資産や社寺林のある景観を守ります | 社寺林と周辺緑地の保全 | | 19 | 特別緑地保全地区の指定面積 | — | ・行徳近郊緑地特別保全地区83ha ・特別緑地保全地区3地区(2ha)(平田、宮久保、子の神) | A | ・行徳近郊緑地特別保全地区83ha ・特別緑地保全地区3地区(2ha)(平田、宮久保、子の神) | A | 市街地の緑地空間の保全 |
| | | 基本戦略3 様々な人や組織との協働「人と人をつなげる」 | (1) 市民と事業者と行政の協働により、自然環境の保全を行っていきます | 市民ボランティアによる緑地や山林の保全 | | 21 | 保全緑地の状況 | 12箇所 | 172本 (対H26年度比)△9% | B | 186本 (対H26年度比) △1.6 % | B | 巨樹、巨木の保全 |
| | | | | 事業者による緑地の管理 | | 22 | 【旧(～2022年度)】地域戦略の事業者認知度 【新(2023年度～)】事業者・市民を対象とした講演会への参加者数 | 生物多様性セミナーへの参加事業者数:16社 | 市内民間事業者を対象とした、いちかわ戦略の認知促進活動は未実施 | R | 和洋女子大学にて、大学生を対象に生物多様性セミナーを実施:24名 | A | 【旧(～2022年度)】いちかわ戦略の市内事業者への認知 【新(2023年度～)】事業者に対するみどりの管理に関する知識の普及 |
| | | | | 市民ボランティア活動への支援体制の整備 | | 23 | 【旧(～2022年度)】事業の進捗状況 【新(2023年度～)】ボランティア団体の交流会の実施状況 | — | ボランティア9団体 会員数164名 | A | ボランティア:8団体 会員数189名 交流会実施数:12回 | A | 市民ボランティア活動への支援体制の推進 |
| | | | (2) 市民ボランティア活動に参加する市民や事業者のための人材育成をおこなっていきます | 市民ボランティアの育成 | | 24 | 花と緑の講習会 年間開催講座数 | 10講座 | 花と緑の講習会を定期的に開催し、市民への花と緑に関する知識を普及している | A | 9講座 | B | 花と緑に関する知識と技術の普及 |
| | | | | 市民と市民ボランティアとの交流の場の提供 | | 25 | いちかわこども環境クラブの参加 クラブ数・メンバー数 | 10団体、90人 | 31団体、170人 | A | 27団体、159人、講座:1回 | B | 【旧(～2022年度)】25団体 【新(2023年度～)】35団体(23年度33団体、24年度34団体) |
| | | | | 市民ボランティアへの支援 | | 26 | エコギャラリー 参加団体数 | 12団体 | 9団体 | B | 7団体 | B | 20団体(23年度13団体、24年度17団体) |
| | | | | 環境団体 登録団体数 | | 27 | 環境団体 登録団体数 | 環境活動団体:36団体 緑のボランティア活動支援:8団体 | 環境活動団体:32団体 緑のボランティア活動支援:9団体 | B | 環境活動団体:31団体 緑のボランティア活動支援:8団体 | B | 45団体(23年度42団体、24年度43団体) |
| | | | (3) 生物多様性に関する知識と理解を広めていきます | 生物多様性に関する知識の普及啓発 | | 28 | 生物多様性に関する講座への参加者数 | 11回 | 自然環境講座、生物多様性セミナーを開催することにより幅広い世代に啓発を行った。 | A | 自然環境講座:2回、166人 生物多様性セミナー:1回、24人 | B | 【旧(～2022年)】200人年 【新(2023年度～)】350人/年(23年度330人、24年度340人) |
| | | | | 生物多様性に関する調査と資料・情報の収集・保存 | | 29 | 指標生物による把握 | — | シンボル種(鳥類)確認数1,332羽(行徳除く) いきものマップ アクセス数4,206件 投稿数555件 調査員数132人 | A | シンボル種(鳥類)確認数1,337羽 いきものマップ アクセス数1,295件 投稿数641件 調査員数146人 | A | 生物多様性に関する情報収集 |
| | | | | 道路建設における生物多様性への配慮 | | 30 | 地域戦略の行内認知度 | 都市計画道路3,14,18号事業地内のクロマツ保全 八幡5丁目クロマツ公園の整備 | 該当なし | A | 都市計画道路3・6・32号の整備にて、街路樹の整備(ヒラドツツ240本、ハナミズキ25本) | A | 生物多様性に配慮した公共事業の普及 |
| | | 基本戦略4 生物多様性の持続可能な利用「人と自然と文化をつなげる」 | (1) 生物多様性に配慮した都市開発や事業活動、市民生活をおこなっていきます | 事業活動における生物多様性への配慮 | | 31 | 【旧(～2022年度)】地域戦略の事業者認知度 【新(2023年度～)】事業者・市民を対象とした講演会への参加者数 | 生物多様性セミナーへの参加事業者数:16社 | 2020年は新型コロナウイルスで中止、2019年は千葉商科大学で講演、2018年は市内小中学校の教員を対象にしたセミナー開催 | R | 和洋女子大学にて開催(野生生物対策について講演) | A | 【旧(～2022年度)】生物多様性に配慮した事業活動の普及 【新(2023年度～)】事業者に対する生物多様性に関する知識の普及 |
| | | | | 消費活動における生物多様性への配慮 | | 32 | 地域戦略の市民認知度 | いちかわ戦略を知っている市民の割合:11% | いちかわ戦略を知っている市民の割合:36%(388人/1081人) | B | いちかわ戦略を知っている市民の割合:38%(439人/1147人) | B | 生物多様性に配慮した消費活動の普及 |
| | | | | 地球温暖化対策の推進 | | 33 | 温室効果ガスの市内における排出量 | 3129.6千t-CO2 | 2,278.2千t-CO2 | B | 2022年(速報値):2537.0千t-CO2 | B | 2,145千t(23年度2,290千t、24年度2,218千t、25年度2,145千t) |
| | | | 再生可能エネルギーの普及 | | 34 | 【旧(～2022年度)】住宅用太陽光発電システムの普及件数 【新(2023年度～)】住宅用太陽光発電システムの設置設備台数 | 累計 3,051件 | 18,913kw | B | 2023年実績:24,848kw | A | 【旧(～2022年度)】5,000件【新(2023年度～)】23,000kw(23年度21,000kw、24年度22,000kw) | |
| | | | (3) 子どもたちが自然や文化にふれあえる機会を増やします | 子どもたちが自然や文化にふれあえる機会の提供 | | 35 | 地域の自然や文化を身近に感じる子どもとの割合 | 各学校で実施 | グリーンスクール事業等における学習を通して生物を大切にしたいという記述や行動が見られるようになった。 | A | グリーンスクール(日帰り)6回、グリーンスクール(宿泊)2回実施 | B | 地域の自然や文化に対する理解と普及 |

注) A:順調に進捗している B:進捗に遅れがある C:進捗の把握ができていない R:指標の見直しが必要である